

## 蟻掛葺屋根

### ■特長

### 耐風圧性と板鳴り防止工法

- 蟻掛葺瓦棒の溝板中間部にリブを設けて強度を高め、さらに鉄線入りの蟻掛吊子で緊結しますので、バタつきによる板鳴りや屋根材の剥離を起しません。
- 強風地帯の屋根工事に最適です。

### 経済的な工法

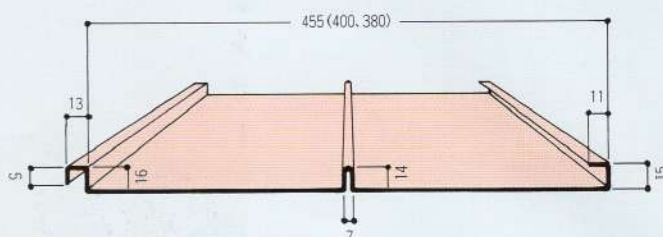
- 働き巾 455 mm の工法は、垂木のコストダウンにつながり、広く北海道の建築物に使われている経済的な工法です。

### ■用途

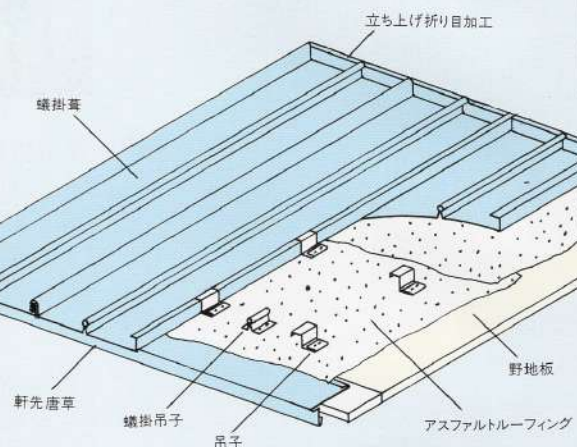
一般住宅、小規模工場、倉庫、農業施設の屋根



### ■断面形状



### ■構成図



## 堅平葺屋根

### ■用途

一般住宅、学校、会館、体育館、牧舎、教会、工場、倉庫などの屋根。

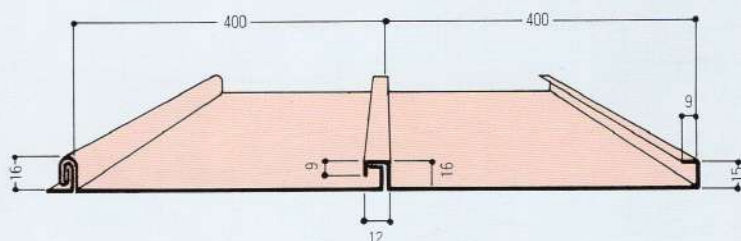
### ■使用材質〈蟻掛葺・堅平葺〉

使用原板	板厚 mm
カラー亜鉛鉄板	0.35~0.4
塩ビ鋼板	0.35~0.4
アクリル鋼板	0.35~0.4
ふっ素樹脂鋼板	0.35~0.4
耐摩カラー・ガルバリウム鋼板	0.35~0.4
カラーステンレス	0.3~0.4

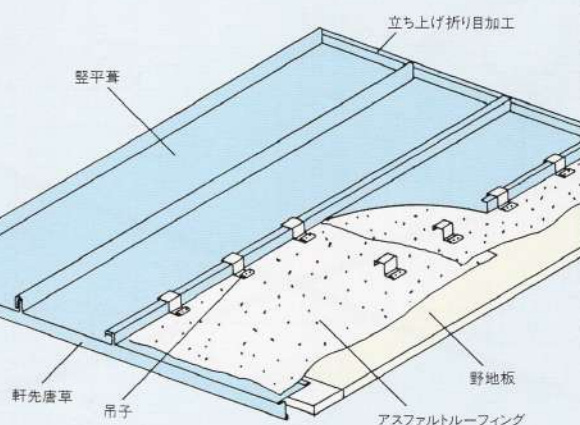
### ■設計参考仕様

	蟻掛葺	堅平葺
原板巾	530mm	455mm
働き巾	455mm	400mm
勾配	25/100以上	25/100以上
母屋間隔	600~900mm	600~900mm
下地	アスファルトルーフィング及びフェルト敷込み	

### ■断面形状



### ■構成図



## ■特長

### 重ね葺きで簡略施工

- 従来の屋根の上に、仕上り形状が、ほぼ同じ物でそのまま葺き上る。

### 施工が迅速で経済的

- 既存のトタンを剥がさず、工期が大巾に短縮される。

## ■使用材質

使用原板	板厚 mm
カラー亜鉛鉄板	0.35~0.4
塩ビ鋼板	0.35~0.4
ガルファン鋼板	0.35~0.4
ぶっ素樹脂鋼板	0.35~0.4
耐摩カラー・ガルバリウム鋼板	0.35~0.4
カラーステンレス	0.3~0.4

## ■設計参考仕様

カバー蟻掛葺			
原板巾	530mm	475mm	455mm
働き巾	455mm	400mm	380mm
勾配	25/100以上		
母屋間隔	600~900mm		

カバー豎平葺	
原板巾	455mm
働き巾	400mm
勾配	25/100以上
母屋間隔	600~900mm

